

iFree レバレッジ S & P 500

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）	
信託期間	無期限（設定日：2018年8月31日）	
運用方針	日々の基準価額の値動きがS & P 500指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	米国の株価指数先物取引、米国の債券、わが国の債券およびダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券。なお、米国の金融商品取引所上場株式およびETF（上場投資信託証券）に投資する場合があります。
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

運用報告書(全体版)

第7期

(決算日 2025年9月1日)

(作成対象期間 2024年8月31日～2025年9月1日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日々の基準価額の値動きがS & P 500指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額				S & P 500指数 (税引後配当込み、 米ドルベース)		株式組入比	株式先物比率	公社債組入比率	債券先物比率	投資信託 受益証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税分配	込金	期騰落率	(参考指数)	期中騰落率						
3期末 (2021年8月30日)	円 20,981	円 0	% 62.5	16,148	% 29.9	—	200.9	6.7	—	—	—	百万円 13,144
4期末 (2022年8月30日)	16,097	0	△ 23.3	14,585	△ 9.7	—	200.4	—	—	—	—	19,222
5期末 (2023年8月30日)	17,843	0	10.8	16,470	12.9	—	200.0	—	—	—	—	25,248
6期末 (2024年8月30日)	24,460	0	37.1	20,690	25.6	—	198.4	36.8	—	—	—	22,338
7期末 (2025年9月1日)	29,093	0	18.9	24,125	16.6	—	200.2	37.1	—	—	—	24,113

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 先物比率は賃建比率－売建比率です。

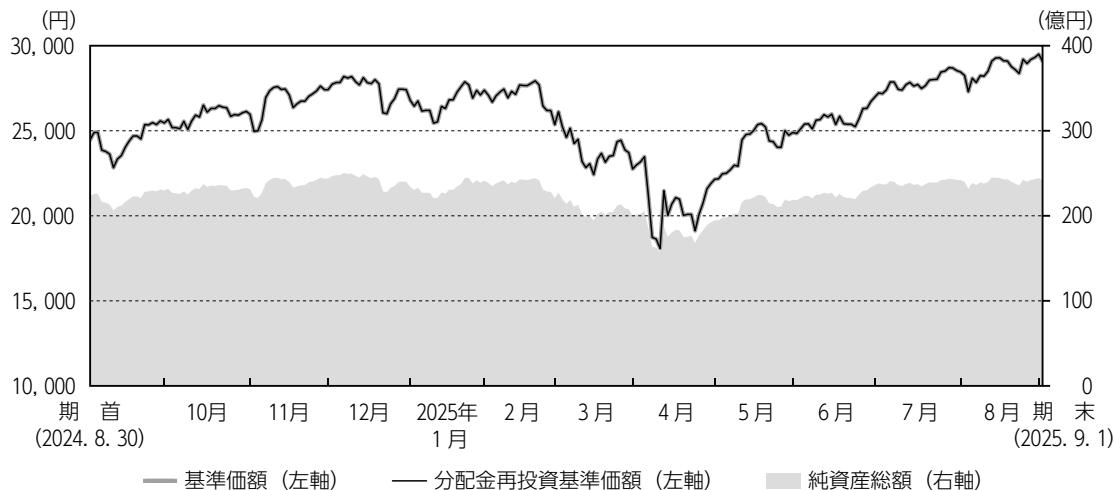
(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

S & P 500指数は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P®、S & P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX® は、S & P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサプライセンスされています。iFree レバレッジ S & P 500は、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遗漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当期成績の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期首：24,460円

期末：29,093円（分配金0円）

騰落率：18.9%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きがS & P 500指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざした運用を行った結果、米国株式市況が上昇基調だったことから、当ファンドの基準価額も上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

iFree レバレッジ S & P 500

年 月 日	基 準 価 額	S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		株式組入比	株式先物比率	公 社 債組入比率	債券先物比率	投資信託受益証券組入比率
		騰 落 率	(参考指標)					
(期首) 2024年 8月30日	円 24,460	% —	20,690	% —	% 198.4	% 36.8	% —	% —
9月末	25,462	4.1	21,248	2.7	— 201.1	% 24.8	—	—
10月末	25,964	6.1	21,541	4.1	— 200.6	% 23.9	—	—
11月末	27,414	12.1	22,247	7.5	— 199.4	% 28.6	—	—
12月末	26,795	9.5	22,162	7.1	— 199.8	% 29.1	—	—
2025年 1月末	27,388	12.0	22,547	9.0	— 200.2	% 35.5	—	—
2月末	25,361	3.7	21,786	5.3	— 200.4	% 33.8	—	—
3月末	22,754	△ 7.0	20,762	0.3	— 199.3	% 29.8	—	—
4月末	22,153	△ 9.4	20,700	0.0	— 200.5	% 11.6	—	—
5月末	24,901	1.8	22,028	6.5	— 199.6	% 26.5	—	—
6月末	26,969	10.3	23,020	11.3	— 199.8	% 29.6	—	—
7月末	28,452	16.3	23,740	14.7	— 199.6	% 28.8	—	—
8月末	29,505	20.6	24,279	17.3	— 200.1	% 36.6	—	—
(期末) 2025年 9月 1日	29,093	18.9	24,125	16.6	— 200.2	% 37.1	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024. 8. 31 ~ 2025. 9. 1)

■米国株式市況

米国株式市況は、上昇基調で推移した後に急落しましたが、その後の急騰で史上最高値を更新しました。

米国株式市況は、当成期首より、経済指標の改善や F R B (米国連邦準備制度理事会) による利下げを受け、上昇しました。2024年11月初旬には、大統領選挙でトランプ氏が勝利したことなどが好感され、上昇に弾みがつきました。12月中旬に F R B が0.25% ポイントの利下げを決定した際には、その後の利下げペースの減速が示唆されたことで株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I (消費者物価指数) が市場予想を下回ったことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ政権による関税引き上げへの懸念が強まり、大幅に下落しました。さらに、4月2日に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことから、株価はまれに見る急落に見舞われ、当成期中の安値を記録しました。しかし、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、株価は急反発しました。5月以降は、米中双方が関税を大幅に引き下げるなど米国の関税をめぐる懸念が後退する中で、A I (人工知能) 関連企業の成長期待が高まったことや F R B の利下げ観測が強まったことなどが好感され、史上最高値を更新して当成期末を迎きました。

■国内短期金融市況

日銀の利上げを受けて、短期金利は上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主として、米国の債券、わが国の債券および「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の受益証券に投資するとともに、株式の組入総額と株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、原則として、信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きが S & P 500 指数 (配当込み、米ドルベース) の値動きの2倍程度となることをめざします。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 8. 31 ~ 2025. 9. 1)

■当ファンド

米国の株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、純資産総額の2倍程度となるよう調整しました。また、「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の受益証券への投資も行いました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

米国の株価指数先物取引については、E-mini S & P 500株価指数先物取引を利用しました。米国の株式への直接投資は行っておりません。

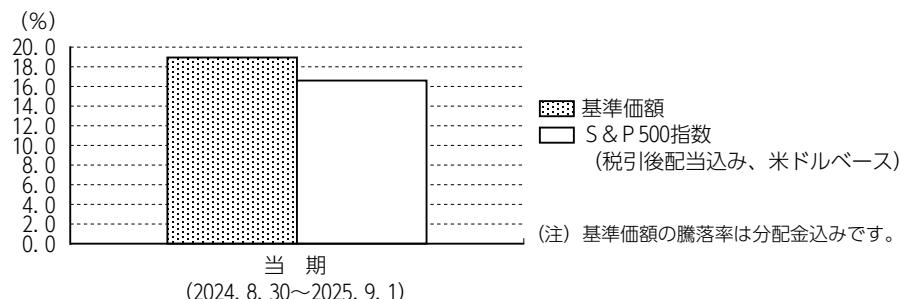
■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送させていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2024年8月31日	～2025年9月1日
当期分配金（税込み）（円）	—	—
対基準価額比率（%）	—	—
当期の収益（円）	—	—
当期の収益以外（円）	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	19,092	—

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主として、米国の債券、わが国の債券および「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の受益証券に投資するとともに、株式の組入総額と株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、原則として、信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがS & P 500指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざします。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当たりの費用の明細

項目	当期 (2024. 8. 31～2025. 9. 1)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	257円	0.995%	信託報酬=当成期中の平均基準価額×信託報酬率 当成期中の平均基準価額は25,816円です。
(投信会社)	(124)	(0.481)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(124)	(0.481)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(9)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	4	0.016	売買委託手数料=当成期中の売買委託手数料／当成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(4)	(0.016)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税=当成期中の有価証券取引税／当成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	2	0.006	その他費用=当成期中のその他費用／当成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	263	1.018	

(注1) 当成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

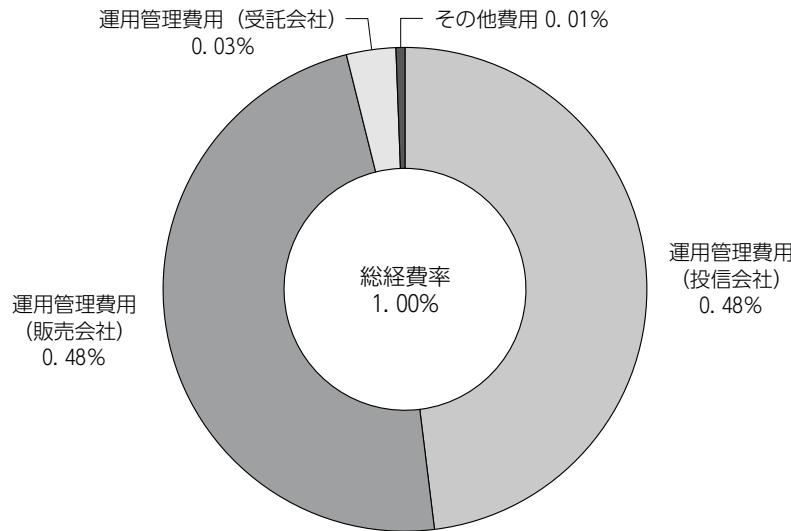
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入しています。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当分成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.00%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年8月31日から2025年9月1日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
千口	千円	千口	千円	
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	22,897,380	22,931,921	17,834,260	17,854,816

(注) 単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等

先物取引の銘柄別取引・残高状況

(2024年8月31日から2025年9月1日まで)

銘 柄 別	買 建		売 建		当 作 成 期 末 評 価 額		
	新 規 買付額	決済額	新 規 売付額	決済額	買建額	売建額	評価損益
外 国 株 式 S&P500 EMINI FUT (アメリカ)	百万円 224,519	百万円 226,134	百万円 —	百万円 —	百万円 48,284	百万円 —	百万円 2,915

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1)当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2)マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2024年8月31日から2025年9月1日まで)

決 算 期	当 期						
	区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C
公社債		百万円 422,412	百万円 36,445	% 8.6	百万円 32,086	百万円 —	% —
コール・ローン		16,978,657	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合5.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	期 首	口 数	評 価 額
千口	千口	千円	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	9,783,086	14,846,206	14,890,744

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年9月1日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
千円		%
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	14,890,744	61.3
コール・ローン等、その他	9,395,256	38.7
投資信託財産総額	24,286,001	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので、なお、9月1日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=147.28円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(5,742,089千円)の投資信託財産総額(24,286,001千円)に対する比率は、23.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年9月1日現在

項目	当期末
(A) 資産	
コール・ローン等	30,000,588,233円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	3,499,700,519
未収入金	14,890,744,923
差入委託証拠金	8,783,966,851
	2,826,175,940
(B) 負債	5,886,766,414
未払金	5,724,545,967
未払解約金	52,383,436
未払信託報酬	109,230,270
その他未払費用	606,741
(C) 純資産総額 (A - B)	24,113,821,819
元本	8,288,584,097
次期繰越損益金	15,825,237,722
(D) 受益権総口数	8,288,584,097口
1万口当り基準価額 (C / D)	29,093円

*期首における元本額は9,132,756,194円、当制作期間中における追加設定元本額は3,787,633,950円、同解約元本額は4,631,806,047円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は29,093円です。

■損益の状況

当期 自2024年8月31日 至2025年9月1日

項目	当期
(A) 配当等収益	236,754,291円
受取利息	19,940,290
その他収益金	216,814,001
(B) 有価証券売買損益	△ 370,449,906
売買益	1,287,132,561
売買損	1,657,582,467
(C) 先物取引等損益	3,855,761,227
取引益	8,645,790,272
取引損	△ 4,790,029,045
(D) 信託報酬等	△ 226,120,589
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	3,495,945,023
(F) 前期繰越損益金	3,510,657,128
(G) 追加信託差損益金	8,818,635,571
(配当等相当額)	(6,877,382,993)
(売買損益相当額)	(1,941,252,578)
(H) 合計 (E + F + G)	15,825,237,722
次期繰越損益金 (H)	15,825,237,722
追加信託差損益金	8,818,635,571
(配当等相当額)	(6,877,382,993)
(売買損益相当額)	(1,941,252,578)
分配準備積立金	7,006,602,151

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 23,814,052円(未監査)

■収益分配金の計算過程(総額)

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	222,373,022円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	3,273,572,001
(c) 収益調整金	8,818,635,571
(d) 分配準備積立金	3,510,657,128
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	15,825,237,722
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	15,825,237,722
(h) 受益権総口数	8,288,584,097口

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。(下線部を変更)

<変更前>

(運用報告書に記載すべき事項の提供)

- ① 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

(運用状況にかかる情報の提供)

- ① 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

<補足情報>

当ファンド (iFree レバレッジ S & P 500) が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日 (2024年12月9日) と、当ファンドの決算日が異なっており、当ファンドの決算日 (2025年9月1日) 現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

公社債

(2024年8月31日から2025年9月1日まで)

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
1258国庫短期証券 2024/12/23	53,294,723	1231国庫短期証券 2025/5/20	32,086,550
1277国庫短期証券 2025/3/31	43,884,327		
1324国庫短期証券 2025/11/10	42,456,310		
1305国庫短期証券 2025/8/12	42,359,507		
1266国庫短期証券 2025/2/10	41,398,758		
1296国庫短期証券 2025/6/30	35,369,131		
1322国庫短期証券 2025/11/4	27,971,020		
1303国庫短期証券 2025/8/4	26,054,513		
1325国庫短期証券 2025/11/17	24,972,600		
1286国庫短期証券 2025/5/12	22,682,339		

(注1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年9月1日現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンド (226,998,227千口) の内容です。

(1) 国内(邦貨建) 公社債 (種類別)

作成期	2025年9月1日現在						
	区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率	
						5年以上	2年以上
	国債証券	千円 136,927,000	千円 136,834,024	% 60.1	% —	% —	% 60.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、格価情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2025年9月1日現在					
区分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	1315国庫短期証券	—	18,927,000 千円	18,920,759 千円	2025/09/29
	1318国庫短期証券	—	22,500,000	22,490,590	2025/10/14
	1322国庫短期証券	—	28,000,000	27,979,840	2025/11/04
	1324国庫短期証券	—	42,500,000	42,466,018	2025/11/10
	1325国庫短期証券	—	25,000,000	24,976,815	2025/11/17
合計	銘柄数 金額	5銘柄		136,927,000	136,834,024

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

運用報告書 第15期 (決算日 2024年12月9日)

(作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日)

ダイワ・マネーストック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

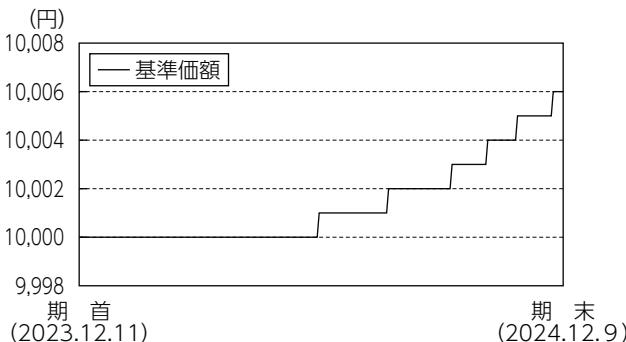
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 組 入 比	債 率
	円	騰 落 率		
(期首)2023年12月11日	10,000	—	—	—
12月末	10,000	0.0	—	—
2024年1月末	10,000	0.0	—	—
2月末	10,000	0.0	—	—
3月末	10,000	0.0	55.3	—
4月末	10,000	0.0	82.1	—
5月末	10,000	0.0	68.9	—
6月末	10,001	0.0	55.2	—
7月末	10,002	0.0	69.8	—
8月末	10,002	0.0	84.0	—
9月末	10,003	0.0	58.2	—
10月末	10,004	0.0	56.5	—
11月末	10,005	0.1	56.7	—
(期末)2024年12月9日	10,006	0.1	56.2	—

(注1) 謄落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・謄落率】

期首：10,000円 期末：10,006円 謄落率：0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券(3ヶ月物)の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券(3ヶ月

物)の利回りは低位で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入しております。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

国 内	国債証券	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		346,632,363	(212,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

当 期		当 期	
買 付	銘柄	賣 付	銘柄
額	金額	額	金額
		千円	千円
1219国庫短期証券	2024/6/24	129,997,160	
1239国庫短期証券	2024/9/24	69,999,650	
1258国庫短期証券	2024/12/23	53,294,723	
1266国庫短期証券	2025/2/10	41,398,758	
1231国庫短期証券	2025/5/20	39,942,240	
1232国庫短期証券	2024/8/19	11,999,832	

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当期					
	期末			うちB級以下	残存期間別組入比率	組入比率
区分	額面金額	評価額	年利率			
国債証券	千円 134,700,000	千円 134,670,523	% 56.2	% —	% —	% 56.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区分	当期					
	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日	
国債証券	1258国庫短期証券	% —	千円 53,300,000	千円 53,299,179	2024/12/23	
	1266国庫短期証券	% —	千円 41,400,000	千円 41,399,193	2025/02/10	
	1231国庫短期証券	% —	千円 40,000,000	千円 39,972,151	2025/05/20	
合計	3銘柄		千円 134,700,000	千円 134,670,523		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項目	当期	
	評価額	比率
千円 134,670,523	% 56.2	
コール・ローン等、その他	104,892,215	43.8
投資信託財産総額	239,562,739	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項目	当期
(A) 資産	239,562,739,179円
コール・ローン等	104,892,215,443
公社債(評価額)	134,670,523,736
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A-B)	239,562,739,179
元本	239,423,796,545
次期繰越損益金	138,942,634
(D) 受益権総口数	239,423,796,545口
1万口当り基準価額(C/D)	10,006円

*期首における元本額は223,366,515,143円、当作成期間中における追加設定元本額は379,388,372,711円、同解約元本額は363,331,091,309円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ロボット・テクノロジー関連株ファンド	ロボテック	1,268円
ダイワ・ミレーラーセット・インド株式ファンド	インドの匠	1,270円
ワールド・フィンテック革命ファンド	(為替ヘッジあり)	998円
ワールド・フィンテック革命ファンド	(為替ヘッジなし)	998円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド	ロボテック (為替ヘッジあり)	1,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型)	ロボテック (年1回)	1,985円
i Free eレバレッジ S & P 500	i Free eレバレッジ S & P 500	12,280,562,264円
i Free eレバレッジ NASDAQ100	i Free eレバレッジ NASDAQ100	161,414,548,329円
クリーンテック株式ファンド (資産成長型)	クリーンテック株式ファンド (資産成長型)	1,802円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド -ロボテック- (毎月決算/予想分配金提示型)	ロボット・テクノロジー関連株ファンド -ロボテック-	999円
世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	1,501円
i Free e ETF 日経平均レバレッジ・インデックス	i Free e ETF 日経平均レバレッジ・インデックス	4,967,255,494円
i Free e ETF 日経平均ダブルインバース・インデックス	i Free e ETF 日経平均ダブルインバース・インデックス	3,724,014,700円
i Free e ETF TOPIXレバレッジ (2倍)	i Free e ETF TOPIXレバレッジ (2倍)	1,515,998,588円
i Free e ETF TOPIXダブルインバース (-2倍)	i Free e ETF TOPIXダブルインバース (-2倍)	801,214,702円
i Free e ETF 日経平均インバース・インデックス	i Free e ETF 日経平均インバース・インデックス	5,058,763,299円
i Free e ETF TOPIXインバース (-1倍)	i Free e ETF TOPIXインバース (-1倍)	10,715,235,502円
i Free e ETF J P X日経400ダブルインバース・インデックス	i Free e ETF J P X日経400ダブルインバース・インデックス	64,927,071円
i Free e ETF S & P 500レバレッジ	i Free e ETF S & P 500レバレッジ	876,757,771円
i Free e ETF S & P 500インバース	i Free e ETF S & P 500インバース	2,731,982,925円
ダイワ日本債15-20年ラーテ型ファンド・マネーポートオリオ	-Sレトレード-	5,039,566円
ブルベア・マネー・ポートオリオ6	ブルベア・マネー・ポートオリオ6	19,181,134,074円
ブル3倍日本株ポートオリオ6	ブル3倍日本株ポートオリオ6	14,137,732,019円
ペア2倍日本株ポートオリオ6	ペア2倍日本株ポートオリオ6	1,917,701,692円
ダイワ/ハリス世界戦略選株ファンド・マネー・ポートオリオ	ダイワ/ハリス世界戦略選株ファンド・マネー・ポートオリオ	20,903,964円
ダイワ米国バンクローン・オープン	(為替ヘッジあり)	997円
ダイワ米国バンクローン・オープン	(為替ヘッジなし)	997円
ダイワ/ミレーラーセット	ダイワ/ミレーラーセット	1,148円
通貨選択性ダイワ/ミレーラーセット・グローバル好配当株α (毎月分配型)	通貨選択性ダイワ/ミレーラーセット・グローバル好配当株α (毎月分配型)	1,833円
α (毎月分配型)	α (毎月分配型)	1,788円
通貨選択性ダイワ/ミレーラーセット・グローバル好配当株α (毎月分配型)	通貨セレクト・コース	1,751円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型)	ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型)	1,588円
ダイワ/ミレーラーセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	ダイワ/ミレーラーセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	1,813円

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,006円です。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

■損益の状況

当期　自2023年12月12日　至2024年12月9日

項目	当期
(A) 配当等収益	101,466,211円
受取利息	108,064,601
支払利息	△ 6,598,390
(B) 有価証券売買損益	118
売買益	118
(C) 当期損益金(A + B)	101,466,329
(D) 前期繰越損益金	2,910,485
(E) 解約差損益金	△ 35,737,142
(F) 追加信託差損益金	70,302,962
(G) 合計(C + D + E + F)	138,942,634
次期繰越損益金(G)	138,942,634

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。